

審査区分表の見方について

○審査区分表は科研費の審査区分を示すもので、応募者が、自ら応募研究課題に最も相応しい審査区分を選択するためのものです。審査区分表は、学術分野を区分するものではありません。

○審査区分は、小区分、中区分、大区分の3つの区分からなります。

小区分は審査区分の基本単位であり、基盤研究（B, C）、若手研究（B）等の審査区分です。 小区分にはキーワードが付してありますが、これは、応募者が小区分の内容を理解する助けとするためのもので、キーワードに掲げられていない内容の応募を排除するものではありません。

中区分は、いくつかの小区分を集めたものであり、基盤研究（A）、若手研究（A）の審査区分です。 但し、中区分に含まれる小区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の小区分は複数の中区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる中区分を選択できます。

大区分は、いくつかの中区分を集めたものであり、基盤研究（S）の審査区分です。 但し、大区分に含まれる中区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の中区分は複数の大区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる大区分を選択できます。

○小区分、中区分、大区分での審査は、既存分野の深化と研究の多様な展開に柔軟に対応します。そのために、小区分では「○○関連」、中区分では「○○およびその関連分野」、大区分は記号で表記しています。

○審査区分表は、基本単位である小区分をまとめた**審査区分表（小区分一覧）**（別紙1）と、中区分、大区分の編成を示す**審査区分表（中区分、大区分一覧）**（別紙2）の2種類があります。この際、両者の関係がわかるように、審査区分表（小区分一覧）（別紙1）には「対応する中区分、大区分」欄を設け、各小区分について対応する中区分、大区分を示しています。但し、応募者は、小区分にとらわれずに、中区分、大区分を選択できます。